

奥尻地域マリンビジョン

～宝の島「イクシュン・シリ」に海のキセキを探しに行こう～

水産物の安定供給
基盤・体制の確保

環境・生態系保全と
グリーン社会の構築

安心・安心な
漁業地域づくり

漁村地域の
総合的な振興

■地域マリンビジョン協議会【メンバー構成】

- ・ひやま漁業協同組合(奥尻支所)青年部
- ・ひやま漁業協同組合(ウニ・アビ等)養殖部会
- ・奥尻島観光協会・地域おこし協力隊
- ・オクシリアイランドフェリー
- ・奥尻町商工会・協業民間企業
- ・奥尻地区海藻生産・活用調査検討協議会
- ・町おこしワーキングショップ(奥尻高等学校)

- ・漁業就業者:106人(R2国勢調査)
- ・漁業生産量:206t(R5北海道水産現勢)
- ・漁業生産額:431百万円(R5北海道水産現勢)
- ・漁港:青苗漁港(3種)、神威脇漁港(4種)、
奥尻漁港(1種)(稲穂地区、勘太浜地区、
松江地区、赤石地区、宮津地区)、奥尻港

《令和7年3月改訂》

地域の目指す姿

■テーマ:产・学・官・民の協働で行う漁村地域の活性化

水産物の安定供給基盤・体制の確保

- ・持続的漁業生産体制の確立
- ・養殖生産拠点の形成
- ・多様な流通体制の構築
- ・水産物輸出の更なる推進

- ・島内養殖魚種(ウニ・イカ・ホタテ・ナマコ・ニジマス・ホリメコンブ)の養殖海域の拡大
- ・空輸便等を用いた新たな水產物流通体系づくり
- ・水産物の付加価値向上、奥尻島ブランドの確立
- ・ホリメコンブを使った商品開発

環境・生態系保全とグリーン社会の構築

- ・漁港・漁村地域におけるカーボンニュートラルの推進

- ・ブルーカーボンクレジットの認証・発行(サスティナブル・アイランド奥尻)
- ・漁港施設での再生可能エネルギーの利用

安心・安心な漁業地域づくり

- ・ハードとソフトが一体となった避難体制の構築

・避難ハード施設等を活用した防災啓蒙活動の実施

漁村地域の総合的な振興

- ・海藻振興による地域資源を活かした新産業の創出
- ・多面的機能の発揮

- ・多様な販売経路による魚食普及の拡大(島の水産品を扱う直売店の拡大)
- ・地域資源を活用した交流人口の創出(島の水産資源を活用した体験型観光の推進)
- ・来訪者(クルーズ・新ホテル)に対応した地場産品の提供・イベントの開催

【位置図】



地域資源(特徴)



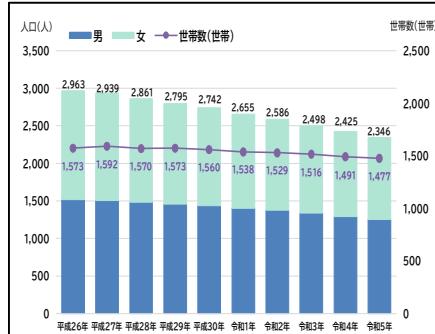
地域全体

現状

- ・町人口の減少が加速
- ・漁業者人口の減少が加速
- ・漁業者の高齢化が進行
- ・主要魚種(イカ、ホッケ)が不漁
- ・漁業生産量・生産額が激減
- ・産業は漁業と観光が中心
- ・養殖事業への取組みが活発化
- ・「養殖漁業」の人手が不足
- ・宿泊施設不足、飲食場所が不十分

課題

- ・雇用先の確保
- ・養殖事業に対する採算性の向上
- ・水産加工業の推進
- ・島の資源を活かした海業の推進
- ・未利用資源による商品開発・販路拡大
- ・未利用漁港の利活用の推進
- ・ブランド化による付加価値向上
- ・海藻類の多様な活用
- ・鮮度保持による販路拡大



奥尻町人口・世帯数の推移(道住民基本台帳)

奥尻町魚種別陸揚量の推移(道水産現勢)

